

消費者モニター 活動報告

第45回 消費者モニター会議

2010年8月27日、「食のサポーター」による消費者モニター会議を開催しました。

今回は、「食の安全・安心についての豆知識」と題して、日頃の食生活において安全な食品を選ぶための学習会をクイズ形式で行いました。普段から見たり聞いたりしてはいるものの問題として改めて聞くと、皆さん緊張され迷いも生じたようで全問正解とはならなかったようです。終盤には正解率もあがり、皆さんの手元には正解の証として配られたウイナーソーセージが増え笑顔も見られました。

《会議風景》



いきなり全員正解！
と思いきや全員不正解！

「〇、×どっち」
考えるほど迷いが、
答えが割れました



解説を聞き「なるほど」

今度は、全員正解！



《サポーターの方々のコメント》

- ・ 大変勉強になった。試食だけでなく、こういう勉強の機会を設けてもらって嬉しい。
- ・ 子育てを始めたばかりなので、食品添加物については、強い関心を持っていたが、食品に使用できる食品添加物の量が国際基準により定められていることを知り、感心するとともに、安心した。
- ・ 情報化社会ということもあって、消費者も食品の情報収集をしやすくなっていると思った。簡単に食品に関する情報を集めることができるのだから、消費者も勉強しなければと思った。
- ・ 家庭の食を預かる主婦はもちろんのこと子供たちにも物を見る力として養わせたい知識だと思った。
- ・ 買い物に子供を連れていくといろいろ無駄な物を買わされるハメになりがちだが、これからは“よく考えながら物を買う”習慣を身につけさせようと思った。買ってきた商品のパッケージを見ながら表示の見方を教えるのも良いと思った。
- ・ 今回の会議に参加して以来、スーパーでの買い物時間が長くなったような気がする。
- ・ 今までラベルを見て「あらっ？」と思う事があっても、その事について調べることはなかった。今回参加してそんなモヤモヤ感が解消されスッキリした気分だ。
- ・ 練り製品は子供達も大好きだったがなるべく買わないようにしていた。今思うに、もう少し食べさせてやればよかったという思いだ。ただ単に一方的な思い込みで遠ざけていた事を反省した。
- ・ いろいろな食品に関する法律があり、言葉の表現によって内容が変わることで、消費者は惑わされていると思った。
- ・ 中国のギョウザ事件が衝撃的であったため、やはり国産をより信じたいと思う。
- ・ とても興味深く勉強になった。当然かも知れないが、細かく詳細にいろいろ取り決められ、規定もなかなか厳しいと思った。